

「財団法人かながわ考古学財団の廃止に反対し、神奈川県文化財保護行政の充実を求める署名」の提出について

日頃より、当会の活動にご協力、ご指導頂きまして、誠にありがとうございます。

これまで精力的に取り組んできた「財団法人かながわ考古学財団の廃止に反対し、神奈川県文化財保護行政の充実を求める署名」でございますが、お寄せ頂いた署名を第三次署名提出として、7月8日に新知事である黒岩祐治知事宛に提出してまいりました。黒岩新知事が松沢前知事時代の決定の問題点を把握し、一日も早い改善を行うことを要望してまいりました。

今回の提出により、2007(平成19)年3月23日の第一次提出、2008(平成20)年7月2日の第二次提出と合わせ、累計で個人署名30605筆、団体署名307筆の署名提出となりました。これまで、皆様には多大な協力を頂き、誠にありがとうございました。この個人署名三万筆超という数字は、文化財に対する真摯な住民の意見を頂いた結果であり、本問題が新聞各紙やテレビ等マスコミで大きな問題として取り上げられ、神奈川県議会でもこの間、度々議論がなされるなど、運動の大きな力となりました。残念ながら、神奈川県は平成23年4月から、新たな埋蔵文化財体制への移行を強行しました。皆様のお力により、かながわ考古学財団は県の組織から離れ、新たな法に基づく独立した公益法人として存続することとなりましたが、神奈川県内における、国民共有の財産である埋蔵文化財のもつ公益性・公共性の低下、神奈川県文化財行政の質・関与の低下や、県職員の人員不足による監理体制構築の限界性、直営調査組織を手放したことによる神奈川県としての調査機能の消滅などの問題については、なんら解決を見ないまま今日に至っています。

このような現状と経過に関しましては、別に付しております「神奈川県の埋蔵文化財新体制」をご参照頂ければ幸いです。

神奈川の文化財の未来を考える会は、今後ともこのような問題の改善や、遺跡調査の細分化などから生じる問題などに注視し、また、「文化財を身近にしていこう」という想いのもとに、「文化財を正しく未来に伝えていく」ための取り組みを継続していきたいと思っております。

今までのご支援、ご指導に重ねて御礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご協力の程、よろしくお願い致します。

2011(平成23)年9月30日

神奈川の文化財の未来を考える会
事務局代表 柏木善治

mobile : [090-1855-8608](tel:090-1855-8608)

renraku@www.kanagawabunkazai.jp

<http://www.kanagawabunkazai.jp/top.htm>